

【参考1】北海道における大規模太陽光発電受付状況（平成25年3月末時点）

	受付件数	受付量
特別高圧連系（出力2,000kW以上）	87件	156.8万kW
高圧連系のうち出力500kW以上 2,000kW未満	256件	28.9万kW
合計	343件	185.7万kW

【参考2】大規模太陽光発電申込に関わる連系電圧別の具体的取り扱い

区分	お取り扱い
特別高圧連系 （出力2,000kW以上）	<ul style="list-style-type: none"> ・当社は系統規模が小さく、出力2,000kW以上の太陽光発電は、短時間における出力変動が周波数の維持に影響し、お客さまへ悪影響を及ぼす可能性があります。当社としては、今後速やかに経済産業省の「平成24年度大型蓄電システム緊急実証事業」に応募し、接続可能量の拡大に努めてまいります。現時点では、接続量が40万kW程度に達すると、接続が困難となる場合があります。 ・既にお申込みをいただきました事業者さまには、この点について個別に事情をご説明させていただきます。
高圧連系のうち、 出力500kW以上 2,000kW未満	<ul style="list-style-type: none"> ・出力500kW以上の接続量が70万kW¹に至った以降については、現在、経済産業省で進めている省令改正²を踏まえた連系の受付を行う予定です。なお、詳細につきましては、省令改正を踏まえ、改めてお知らせいたします（5月中目途）。
（補足） 小規模太陽光発電 （出力500kW未満） 家庭用を含む	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電が小規模分散となり、系統への影響は限定的であることから、<u>当面は、これまでと同様の受付を継続いたします。</u>

1 70万kWについて

- ・特別高圧連系（出力2,000kW以上）と高圧連系のうち出力500kW以上2,000kW未満の大規模太陽光発電の合計となります。

2 省令改正について

- ・現在、経済産業省において、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法施行規則」の改正案として、北海道の接続量の限界（70万kW）を超えたお申込みのみに適用される出力抑制の無補償化（抑制日数が30日を超えても補償を求めない）が検討されています。